

- ・日 時：平成 24 年 6 月 12 日(火) 14:00～17:00
- ・場 所：J G S 会館 地下 A 会議室
- ・出席者：國生，赤木，内藤，小椋，齋藤，菊池，高橋，伊藤，本多（宮田代理），清木（西村代理），森川，竹山，青木(事務局)
- ・欠席者：金尾，佐伯，石原，太田，坂上，重村，佐々木，松島，若井，後藤，橘，沓澤

支部長挨拶の後，初回のため，自己紹介を行った。

1. 前回議事録等の確認

- ・平成 23 年度第 6 回運営委員会議事録 (3/22) 【別紙－ 1】

→静岡県の小野建設からの講座依頼については，関東支部で受けることとなった。

- ・平成 23 年度関東支部総会議事録 (4/23) 【別紙－ 2】

2. 今期の体制

【別紙－ 3】

(新任役員. 敬称略.)

支部監事：齋藤邦夫 (中央大学)

副幹事長：坂上敏彦 (川崎地質)

評議員：規矩大義 (関東学院大学)，舘山勝 (鉄道総研)，秀島哲雄 (NEXCO 東日本)

堀口知巳 (鉄道・運輸機構)，小野寺誠一 (茨城県)，熊倉雄一 (栃木県)

福田和明 (群馬県)，田村聡志 (東京都水道局)，佐藤謙司 (応用地質)

北本幸義 (鹿島建設)，森田邦昭 (茨城県地質)，若月洋朗 (関東地質・千葉)

リター-幹事：神奈川県 G 森川嘉之 (港研)

幹事：15 名

3. 今年度の年間スケジュール

【別紙－ 4】

- ・通常総会 (本部)：平成 24 年 6 月 13 日 (水)
- ・第 47 回地盤工学研究発表会 (本部)：平成 24 年 7 月 14 日 (土)～16 日(月)
- ・関東支部発表会 (Geo Kanto 2012)：平成 24 年 10 月 5 日 (金)

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 地盤工学会誌関東支部特集号について

【別紙－ 5】

→会員減に対する対策や将来展望など，現在考えていることを書くのが良い (支部長挨拶や将来展望で)。

→関東の地盤については，出版されている関東+群馬+神奈川の地盤について書いてもらうのが良い

(まとめて 6～8 頁に出来るか確認)。

→首都直下地震については，ページ数を減らしてよい (2 頁)。

→工事事例は，首都高品川線 or 横浜北環，歴史的な構造物と周辺の再開発 (東京駅)，

つくばエクスプレスなどが考えられる。

→新 GeoKanto の報告を入れるのがよい。可能であれば，10 周年記念事業の予告も入れるのが良い。

→これまでの支部の出版物を宣伝できるようにしたい (会告の後?)。

(2) 本部支部活動活性化委員会-講習会情報について

【別紙－ 6】

5. 支部からの周知・連絡・検討事項

(1) 浦安市役所建築指導課個人住宅相談について

【別紙－ 7】

→相談員への謝礼については，1 人日=2.2 万円とすることとなった

(浦安市から支払われる 2.4 万円から，事務経費 10%弱を引いた金額)。

→今後の契約も、ボランティアベースで引き受けあるのであれば、同程度の金額でよいのではないか。

(2) 第4回工法協会交流会の発表資料公開について 【別紙-8】

(3) 神奈川県グループ幹事について 【別紙-9】

(4) 会員からの支部総会に関する質問について 【別紙-10】

(5) 転載許可について 【別紙-11】

(6) 支部10周年記念事業準備委員会について 【別紙-12】

→各グループのリーダー幹事（若しくは代わりの方）にメンバーになっていただき、議論していくことになった。

(7) 表彰委員会について 【別紙-13】

→平成26年4月に表彰できるよう、年度内に応募推薦要領などを決めて、来年早々に公表する。

幹事長、副幹事長で素案（次回 or 次々回）を作成し、運営委員会で審議。

委員会は、来年度（早ければ今年度中に）。

(8) 支部発表会における支部長特別セッションについて

(9) H23年度収支決算 【別紙-14】

(10) H24年度予算執行状況について（4月末現在） 【別紙-15】

6. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 関東支部研究委員会の委員公募 【別紙-16】

(2) 新版「関東の地盤」出版のための地盤モデルの構築および執筆に関するワークショップ 【別紙-17】

(3) 「関東地域の火山由来地盤の災害事例と地域特性に関するシンポジウム」論文募集 【別紙-18】

(4) 特別講演会「東京スカイツリータウンの概要について」 【別紙-19】

(5) 「防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関するシンポジウム」 【別紙-20】

(6) 「地球変動の影響に対する適応政策・適応技術に関するフォーラム2012」 【別紙-21】

(7) アフターファイブ講演会「事業継続計画(BCP)と東北地方太平洋沖地震」 【別紙-22】

(8) 国際講演会「米国での原子力発電所の設計地震動設定のための液状化痕跡調査」 【別紙-23】

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G 【別紙-24】

→ソイルストラクチャーコンテストは、Geo Kantoの翌日でよい。

→吉田氏の講演会について

ー打撃の話だけだと、後のディスカッションに繋がらないので、場所打ち杭とセットも考えられる。

ー単独でも良いのではないか（第二部なしで）

ー開催時期は、Geo Kantoと被らないように。

(2) 茨城県 G

(3) 栃木県 G 【別紙-25】

→新任幹事、評議員について了承。

→トンネル工事の見学会についても了承。

(4) 群馬県 G 【別紙-26】

(5) 山梨県 G

(6) 千葉県 G 【別紙-27】

(7) 埼玉県 G 【別紙-28】

(8) 神奈川県 G 【別紙-29】

→野外巡検については関東学院と共同で、9～10月実施を予定。

(9) 研究委員会 G 【別添資料】

→地盤DB委員会と土木史跡委員会への新任委員、新設委員会の委員構成を了承。

- 土木史跡委員会の講演会開催を了承.
- 出版物の標準販売価格の算定等に関する内規の改正について了承.
- 本部の刊行物の著作権等の帰属および取扱いに関する規程（案）に従って、
支部で運用していくことを了承（本部で電子化に関する改正が未了だが、先行して使う）。
今後関係しそうなものは、関東の地盤と廃石膏ボードの書籍.

(10) 支部発表会 G 【別紙-30】

- 現在の準備状況について説明があった.
- 「支部長特別」については、これを単独で開催するのはやめて、「災害から市民をまもる」を拡大し、
学会の取り組み（学会提言、首都圏直下地震など）についても紹介するのがよい。
火山の話は入れないのか？との意見もあった。可能であれば、パネルディスカッションも。
- 若手交流については、企画総務 G で検討中.

(11) 企画総務 G 【別紙-31】

- ニューズレターの巻頭言を齋藤監事に依頼し、快諾された.

8. その他

(1) 退会届

- (株) ガイアート T・K (4級) 【別紙-32】
- (株) 東京シビルコンサルタント (4級) 【別紙-33】
- (株) サコ コンサルタント (4級) 【別紙-34】
- NTTインフラネット (株) (4級) 【別紙-35】
- (株) クレアリア (3級) 【別紙-36】

(2) 次回 (第2回) 運営委員会予定日 平成24年8月6日 (月) 14:00~17:00